

「善意」という語の類義語分析

－「好意」及び「良心」との比較を中心に－

星宏和(京進ランゲージアカデミー)

1. 目的

本研究発表は、現代日本語の「善意」という語が有する意味、特に<他人のために思う心>¹及び<善良な心>という意味について、類義語であると考えられる「好意」及び「良心」という語が有する意味との比較検討を通じて、より精緻な意味記述を行うことを目的とする。

2. 先行研究

類義語とは「意味の類似した複数の語のこと」(初山, 2002)であるが、「具体的にどのような範囲の語を類義として認めるかについては、論者によってかなりの開きがある」(山田, 2017)。李(2023)が諸研究を整理及び検討する形で類義語の認定基準を提示しているので、この認定基準等に従って類義語の認定を行う。

「悪意」については宮寄・田中(2013)があるが、「善意」、「好意」及び「良心」という語の意味に関する先行研究は見つからなかった。

3. 類義語の認定

『明鏡国語辞典』(第三版)は、「善意」という語の意味を「①善良な心. 他人のために思う心. 好意. ②ある事柄についての、よい方の意味. よい見方. ③法律上の効果を生じさせる一定の事情を知らないこと。」と記述している。また、同国語辞典は、「好意」の意味を「ある人に対する好感・親しみの気持ち。」と、「良心」の意味を「善悪・正邪を判断し、自分の行いを正しいものにしようとする心のはたらき。」と記述している。

本研究発表では、上記①の意味に注目する。

文脈的同義(國廣, 1982)²、対象語同士の指示対象が一部重なる(李, 2023)³及び国語辞典の記述等を根拠として、「好意」及び「良心」は「善意」の類義語であると考えられる。

例えば、実例(1)において「好意」を「善意」に交換して言い換えることができること及び「善意」を「好意」に交換して言い換えることができることから、文脈的同義に基づいて、両語は類義語であると考えられる。また、実例(2)において「良心」を「善意」に交換して言い換えることができることから、文脈的同義に基づいて、両語は類義語であると考えられる。以下、下線は筆者が付した。⁴

(1) その友人は全く悪気はなく、100%純粋な好意からあなたを勧誘しているからです。この悪気がない善意って奴が曲者です。(Yahoo!知恵袋, 2005年, BCCWJ)

(2) 第二次世界大戦では、人権が無視・軽視され、人類の良心を踏みしめるような野蛮な行為が繰り返され、世界で五千六百万人を超える命が奪われました。(広報いせ, 2008年, BCCWJ)

さらに、実例(3)における「善意」の指示対象が「(弱い立場の) 相手を助けようとする心」であること、実例(4)における「好意」の指示対象が「老人に席を譲ろうとする(親切的な)心」であること及び実例(5)における「良心」の指示対象が「助

¹ 語が有する意味(を構成する要素)を< >で括弧で示す。

² 「刷る」と「印刷する」はほとんど全ての文脈で同義(ゆるい意味での「同義」を指し、「類義」と呼んでも差し支えない)である「一般的同義」に対して、「みる」と「診察する」は「医者が患者を—」に類する文脈でのみ同義であり、このことを「文脈的同義」と呼ぶ(國廣, 1982)。

³ 「いえ」と「うち」、「地域」と「地帯」及び「準備」、「支度」と「用意」のように、対象語同士の指示対象が一部重なる場合に、類義語の認定基準を満たすと考える(李, 2023)。

⁴ 検討対象の語には実線の下線を、実線の下線が施された語が有する意味の理解の助けとなる表現には点線の下線を付した。

けを必要とする人のためになろうとする心」であることから、これらの語の指示対象は「弱い立場の人のためになろうとする心」という共通する特徴を有する。従って、対象語同士の指示対象が一部重なるという類義語の認定基準に基づいて、これらの語は類義語であると考えることができる。

(3) 強い者が弱い者のために尽す、施す。それはいつしか絶対的な「する者」と「される者」という立場を固定してしまう。弱い者は「より弱い者」にされていく傾向がある。もちろん、ケアしようとする人は「相手を助けよう」としているのであり、そこには善意しかない。(田口ランディ, ほつれとむすぼれ, BCCWJ)

(4) でも、その日は杖を持ち、しかも主人は白髪。絶対、席を譲られる。今までは席を譲ってもらおうと、その人の好意を素直に受けられたが、杖を持つことによって、席を要求しているような気になる。(朝日新聞(朝刊), 2007年4月26日, 朝日新聞クロスサーチ)

(5) その他にも「緊急手術の為、RH-の血液を探しています」とか、人の良心につけこんだイタズラメールがあります。(Yahoo!知恵袋, 2005年, BCCWJ)

4. 各語が有する意味の比較検討

「善意」と「好意」及び「良心」について、実例に基づいて意味を比較検討する。

4.1 「善意」と「好意」

どちらの語も<他人のためを思う心>を表す。

例えば、実例(6)の筆者(である年配の女性)は、鉄道の車内で二人の若い女性が筆者に席を譲ろうとした行為を受けて、二人の行為の原因であると考えられる「他人のためを思う心」を「好意」と称している。また、筆者は、二人のことを(「好意」を「善意」と言い換えたうえで)「善意(と勇気)のある人」と称している。以上より、「好意」及び「善意」という語は、どちらも<他人のためを思う心>を表していると考えられる。

(6) その次の駅でのことだ。私の肩をたたく人がいる。先ほどから私の斜め前に立っていた若い女性が、「どうぞここに」と席を確保してくれているのだ。その席はほかの若い女性が座っていた席で、その人に何かささやきかけているのをちらっと見かけたから、きっと私に席を譲ってやってくれないかと、頼んでくれたのに違いない。お二人の好意を無にしてはいけないと思い、ありがたく座った。

こんなに善意と勇気のある人がいる限り、まだまだ日本は大丈夫だと思った。(朝日新聞(朝刊), 2018年3月29日, 朝日新聞クロスサーチ)

しかし、実例(7)及び(8)において「善意」と「好意」を入れ替えると、意味にずれが感じられる。

(7) あなたの善意で、死後、心臓、肝臓、肺、腎臓、眼球などの臓器を提供していただくことにより、それらの病気の人を救うことができます。(広報わじま, 2008年, BCCWJ)

(8) このときFさんは、中内氏の次男で福岡ドーム社長だった正氏の好意で、食事のとれるスーパーボックスで試合を観戦。(週刊現代, 2002年, BCCWJ)

両語が有する意味の違いは、「ある概念を理解するのに必要となるような背景的知識構造」(野村, 2013), すなわちフレームを想定することで明確になると考えられる。つまり、「善意」は「社会(道徳)的に好ましいとされている」, 「好意」は「主体が対象を好ましいと思っている」というフレームにおいて、<主体が対象のためを思う心>を表すと考えられる。⁵

実例(9)及び(10)に見られる「善意を示す」と「好意を示す」、実例(11)及び(12)に見られる「善意を装う」と「好意を装う」並びに実例(13)に見られる「善意の押し売り」(「好意の押し売り」⁶)という表現の意味の違いからも、2つのフレームの存在を認めることができる。

(9) ただ、「氷見市や富山県は志賀原発の再稼働の判断に関わることはできないのに、事故が起きたら石川県から避難

⁵ 靱山(2022)による、同一の、あるいは同様の指示対象を有する類義語の意味の違いが異なるフレームに基づく場合に相当する。例として、靱山(2022)による「歩行者」及び「通行人」という語の分析も参照されたい。

⁶ 作例に付した「?」は、その表現が(非文ではないが)容認度が低いことを表す。

者を受け入れる可能性がある。富山県側が一方通行で善意を示すしかないのが現状だ」(訓練を見学した60代女性)と、県内の自治体が置かれた状況に疑問を呈する人もいた。(朝日新聞(朝刊), 2014年11月8日, 朝日新聞クロスサーチ)

(10) むこうには彼女さんがいます。私は控えめに好意を示す言動をしているつもりだったのですが、男の人ってまったく気がない女の子に好意を示されるのって困るものですか? (Yahoo!知恵袋, 2005年, BCCWJ)

実例(9)において富山県側が石川県に「善意を示す」ということは、(原発に関する)事故が起きたら石川県から避難者を受け入れることを表し、社会(道徳)的に好ましいとされていることである。一方、実例(10)において女の子が男の人に「好意を示す」ということは、主体(である女の子)が対象(である男の人)を好ましいと思っているということである。

(11) もちろん、電車内の携帯電話による会話は、マナーとして禁止すべきだ。しかし、先の記事を読み、「電源をお切りください」との車内放送は、もうやめるべき時であると感じた。この車内放送は弱者への善意を装いつつ、実質はペースメーカー使用者に対する一種の差別感を社会に植え付け、就職に際し採用をためらわせることにもつながっていると思うからだ。(朝日新聞(朝刊), 2008年3月28日, 朝日新聞クロスサーチ)

(12) 八十一歳の夫が被害にあったのは東京都武蔵野市の主婦大井和江さん(七四)。「おやじにそっくりなので」と誘われて乗車。「この辺で」と言うと、時計を取り出して三万円を要求された。所持金七千円を渡して「無一文では困る」というと時計と一緒に千円を戻した。(中略) 好意を装った、こうした詐欺的行為は多いのか。(朝日新聞(朝刊), 1996年3月1日, 朝日新聞クロスサーチ)

実例(11)において、(電車内で携帯電話の電源を切ることを求める)車内放送が弱者(であると考えられているペースメーカー使用者)への「善意を装いつつ」、実質はそうではないと思われることが述べられている。ペースメーカー使用者に配慮して電車内(の一部)で携帯電話の電源を切ることは、社会(道徳)的に好ましいとされていることである。また、実例(12)において、「おやじにそっくりなので」という誘い文句に乗ってしまい、「好意を装った」詐欺的行為に遭った夫のことが述べられている。ある人間が他人に自分の父親に似ていると声をかけて車に乗せることは、主体(であるその人間)が対象(である他人)を好ましいと思っていると考えて差し支えないであろう。ところが、その人間が本当の目的(である詐欺的行為を働くこと)を隠していたなら、その人間は「好意を装っ」ていたことになる。

(13) ボランティアにはむずかしい側面がある。大義名分でいえば、いいことに決まっている。それだけに気が乗らなくても協力しなくちゃいけないようなムードに流されがちだし、下手をすると善意の押し売りになりかねない。(週刊AERA, 2000年10月30日, 朝日新聞クロスサーチ)

実例(13)において、ボランティアは良いことに決まっているとしながらも、気が乗らなくても協力しなくてはならない雰囲気になることが、「善意の押し売り」になりかねないことが述べられている。「大義名分でいえば、いいことに決まっている」とある通り、ボランティアは社会(道徳)的に好ましいとされていることである。しかし、それが強制されていると感じられるとき、「善意の押し売り」になると考えられる。一方、「好意の押し売り」という表現は容認しづらい。「主体が対象を好ましいと思っている」ことは、個人的な心のはたらきであり、「社会(道徳)的に好ましいとされている」ことよりも他人に強制する程度が低く感じられるから、「好意」は「押し売り」と共起しづらい傾向があると考えられる。

なお、本節の冒頭で示した実例(6)において「好意」を「善意」と(自然に)言い換えられることは、ここでの「好意」という語が、「好意」のフレームだけでなく「善意」のフレームにも基づくことができることを表している。すなわち、「二人の若い女性が年配の女性に席を譲ろうとした行為」は、「主体が対象を好ましいと思っている」ことだけでなく「社会(道徳)的に好ましいとされている」ことでもある。⁷

4.2 「善意」と「良心」

どちらの語が有する意味からも<よい心>という共通する特徴⁸を抽出することができる。

例えば、実例(14)における「善意」という語は、「理想の社会をめざす」という表現と共起して、<他人のためを思う心>

⁷ 榊山(2022)による、(ある多義語が有する複数の意味について)同じ(同様の)対象が異なるフレームに含まれることにより異なる意味として認められる場合に相当する。例として、榊山(2022)による「黙る」という語の分析も参照されたい。

⁸ 「同じ事物を指す他の表示よりも概略的で詳細を省いた記述がされている意味、音韻、もしくは象徴構造」(熊代, 2013), すなわちスキーマのことである。

よりも抽象的なくよい心>という特徴を有すると考えられる。また、事例(15)における「良心」という語は、「いいところのかたまり」と言い換えられているから、<よい心>という特徴を有すると考えられる。

(14) アメリカのように元から移民が築いた国とは違うので、多民族国家への転換にまったく用意ができていないうえ、理想の社会をめざす善意の人々の作り上げたシステムにあこがれて押し寄せる移民の数は増えるばかり（緑ゆうこ、イギリス人は「理想」がお好き、BCCWJ）

(15) わたし、正面からさかねを見た。もう、こわくない。だって今、さかねの“良心” —いいところのかたまりを抱きしめているんだもの。（名木田恵子、ユーレイ通りのスクールバス、BCCWJ）

しかし、事例(16)、(17)及び(18)において「善意」と「良心」を入れ替えることはできない。

(16) 地元の住民たちは、みんな淡々とし、のんびりしていて善意にあふれた表情だ。（Yahoo!ブログ、2008年、BCCWJ）

(17) 今次戦争の最中に於ても、先生は己が心中、満州問題の解決がつかず、これを既成事実として認めるには、先生の良心は許さず、常に悩んでおられた。（古屋安雄、キリスト教と日本人、BCCWJ）

(18) ですから、人のものを平気で取れることに良心の呵責を抱いていない以上法律の文々も紙切れのようなものなんです。（Yahoo!知恵袋、2005年、BCCWJ）

「善意」は「社会（道徳）的に好ましいとされている」フレームを基盤として<善良な心>を表し、「良心」は<主体が正しいと思うことを決める心よりどころ>を表すと考えられる。また、「良心」はこの心よりどころに従おうとする心のはたらきも表すと考えられる。

4.3 まとめ

「善意」と「好意」及び「良心」について、意味を比較検討した結果を表1にまとめる。

「良心」という語のフレーム及び<よい心>に抽象される具体的な意味（意味①）について検討を進めることは、今後の課題である。

表1 「善意」と「好意」及び「良心」の意味

	「好意」	「善意」	「良心」
フレーム	社会（道徳）的に好ましいとされている		
	主体が対象を好ましいと思っている		
意味①	<よい心>（スキーマ）		
	<主体が対象を思う心>	<主体が対象を思う心>	
意味②	<善良な心>		<主体が正しいと思うことを決める心よりどころ>
意味③			<「良心」の意味②に従おうとする心のはたらき>

参考文献

- 熊代敏行 (2013). スキーマ (schema) 辻幸夫(編) 認知言語学キーワード事典 研究社 p. 188.
- 國廣哲彌 (1982). 意味論の方法 大修館書店
- 李澤熊 (2023). 現代日本語における意図性副詞の意味研究 ひつじ書房
- 宮寄由美・田中牧郎 (2013). 法律用語「作為」を中心とした辞書記述の提案：法律語義と一般語義の類義関係をふまえて 社会言語科学会第32回大会発表論文集, 164-167.
- 靱山洋介 (2002). 認知意味論のしくみ 研究社
- 靱山洋介 (2022). 複数のフレームに基づく多義語の分析—「黙る」を中心に— 松本陽・小原京子(編) フレーム意味論の貢献 開拓社 pp. 42-62.
- 野村益寛 (2013). フレーム (frame) 辻幸夫(編) 認知言語学キーワード事典 研究社 p. 317.
- 山田進 (2017). 意味の探究 くろしお出版